

平成22年 県政の軌跡

I 県民と親しみ、県外に進攻した活動実績	1 頁
II 談合システムからの訣別と清潔な県政の実現	2
III 新しい県政の運営方法の導入	2
IV 未来を拓くひたむきな人間力を育む和歌山	
1. 元気な和歌山の未来を拓く人づくり	3
2. 明るく元気な社会づくり	4
V 生涯現役で誰もが活躍できる和歌山	
1. 少子化対策の充実	6
2. 福祉の充実	6
3. 健康わかやまの実現	7
VI 国際競争力のあるたくましい産業を育む和歌山	
1. 商工業の振興	8
2. 農林水産業の振興	11
VII 癒しと感動を与える誇れる郷土和歌山	
1. 観光の振興	16
2. 誇れる郷土づくり	17
3. 環境・自然の保全	18
VIII 県民の命と暮らしを守る安全安心和歌山	
1. 防災・減災社会の実現	19
2. 暮らしの安全・安心	19
IX にぎわいと交流を支える公共インフラを整備する和歌山	
1. 交通ネットワークの充実	20
2. IT基盤整備と利活用推進	20
○平成18年12月以降の本県への企業立地動向	21

I 県民と親しみ、県外に進攻した活動実績

	就任1年目 (H18.12.19～H19.11.30)		就任2年目 (H19.12.1～H20.11.30)		就任3年目 (H20.12.1～H21.11.30)		就任4年目 (H21.12.1～H22.11.30)	
○県内から県庁を訪問して下さったお客様	223	グループ	206	グループ	194	グループ	237	グループ
○県外から県庁を訪問して下さったお客様	112	グループ	81	グループ	198	グループ	78	グループ
・国機関関係	35	グループ	24	グループ	28	グループ	14	グループ
・外国関係	18	グループ	7	グループ	16	グループ	11	グループ
○式典・大会出席挨拶	227	回	274	回	312	回	357	回
○講演・シンポジウム	20	回	18	回	22	回	54	回
○県内各地への出張回数	79	回	103	回	89	回	133	回
○県外各地への出張回数	66	回	78	回	68	回	51	回
・東京	24	回	32	回	26	回	20	回
・大阪	31	回	28	回	22	回	14	回
・他府県(東京、大阪を除く)	10	回	17	回	18	回	17	回
・外国	1	回	1	回	2	回	2	回
		(中国)		(スペイン)		(イタリア・フランス、ブラジル・ペルー)		(トルコ・中国)
○公用車の走行距離	23,889	Km	23,104	Km	23,773	Km	25,344	Km
○県内各界要人との懇談	24	回	33	回	26	回	35	回
○県内企業訪問	15	回	27	回	17	回	4	回
○国の要人との政策議論・要望	32	項目	51	項目	60	項目	30	項目
	75	回	66	回	62	回	31	回
○企業首脳トップセールス	41	回	60	回	32	回	25	回

Ⅱ 談合システムからの訣別と清潔な県政の実現

- 公共調達制度改革
 - 実情に応じて新公共調達制度の見直しを実施
 - ・ 入札参加審査申請書等を簡素化(4月)
 - ・ 建設工事に係る委託業務(設計・調査・測量)の「最低制限価格」の算定方式を見直し(8月)

Ⅲ 新しい県政の運営方法の導入

- 知事が直接県民の皆様と意見交換する「和歌山県行政報告会」を開催
(平成21年7月～22年8月で一巡目を終了、8月～二巡目開始)

- 県庁組織改革・人事異動(4月～)
 - ・ 過疎地域の再生・活性化を推進するため、「過疎対策課」を設置
 - ・ 県内中小企業の販路拡大や技術支援を強化するため、「企業振興課」と「産業技術政策課」を設置
 - ・ 「全国植樹祭推進課」を設置
 - ・ 新たに近隣府県との人事交流を実施 3名(大阪府2名、兵庫県1名)
 - ・ 新たに和歌山大学、県農業協同組合中央会との人事交流を実施
 - ・ 中央省庁等への派遣を継続 8省2庁3団体に18名
 - ・ 県と県内市町村との人事交流を継続
人事交流1市4町8名、派遣2市1町5名

- 48法律の事務を市町村へ移譲(4月～)

- 県と市町村の役割分担明確化のため、県事業に対する市町村負担金を原則廃止(15事業、8億9千万円)(平成22年度～)

- 県パスポートセンターでパスポートの日曜申請受け付け開始(9月)

- 府県の区域を越えた広域的な課題に対応するため「関西広域連合」(和歌山県、兵庫県、大阪府、京都府、滋賀県、鳥取県、徳島県で構成)を設立(12月)

IV 未来を拓くひたむきな人間力を育む和歌山

1. 元気な和歌山の未来を拓く人づくり

- 青少年自身がリーダーとなって地域の青少年を育成する循環システムを構築するための「リレー式次世代健全育成事業」を実施(3月、8月)

- 「若者総合相談窓口(With You)」を開設(7月)

- 公立小中学校における教育の充実などを図るために県内4箇所(紀北・紀中・西牟婁・東牟婁)に教育支援事務所を設置(4月)

- 「親と子どものためのきらめき”夢”トーク」を開催(平成20年度～)
 - 6月 上野精一(宇宙航空研究開発機構部長) 新宮市
 - 7月 谷口維紹(東京大学大学院教授) 和歌山市
 - 10月 平山 廉(早稲田大学教授) 橋本市
 - 12月 益川敏英(名古屋大学KMI素粒子宇宙起源研究機構長) 和歌山市

- ふるさどについて幅広い知識を深めるための副読本「わかやま何でも帳」発刊(3月)

- ネットパトロールに加えて、インターネット上での悩みを受け付けるWeb相談などを実施する「ねっと安全わかやま事業」開始(6月)

- わかやま版「地域産業の担い手育成プロジェクト」を開始

- きのくにロボットフェスティバル2010を御坊市で開催(12月)

2. 明るく元気な社会づくり

① 文化芸術の振興

- 和歌山県文化芸術振興基本計画を策定(4月)

- 世界遺産と芸術の融合をテーマにした「和歌山県世界遺産公演」を開催(3月)
 - ・ 那智の田楽十人形浄瑠璃文楽(那智勝浦町)
 - ・ 渡辺貞夫とこどもたち(熊野本宮大社)
 - ・ 谷村新司ネイチャーライブイン高野山(高野山壇上伽藍)

- 文化芸術にふれあう機会の少ない地域の住民・子どもたちに対し、鑑賞機会を提供する「文化芸術ふれあい事業」を開始(10月)

- 県立近代美術館で、名誉館長であった平山郁夫氏の追悼展示、九度山町出身の日本画家小沢道治展を開催(11月～12月)

- 消えつつある方言などの地域文化を資料にまとめてデジタル化する「和歌山文化情報アーカイブ」事業を開始

- 県内の文化財のうち、学術的なデータが不足していることなどにより国指定が果たせていないものの総合調査を実施

② スポーツの振興

- 第70回国民体育大会(平成27年)開催準備
 - ・ 愛称「紀の国わかやま国体」・スローガン「躍動と歓喜、そして絆」を決定(5月)
 - ・ きのくにスポーツフェスティバル2010総合開会式(9月)
 - ・ ジュニアからの一貫指導体制及び集団競技を重点とした「競技力向上戦略～2010プログラム～」を導入

- 和歌山県ゴールデンキッズ発掘プロジェクト
 - 第1期生が修了。第2～4期のゴールデンキッズに対し各育成プログラムを実施するとともに、第5期生発掘のための体力測定会を開催

- 中高等学校の運動部を強化拠点として指定
中学校で39校88運動部、高等学校で20校50運動部

- 市町村立小学校の屋外運動場の芝生化を促進(平成20年度～)
新規に6校が実施し、計19校に

③ 国際交流の推進

- 中国山東省との交流
 - ・ 関西国際空港－済南遥牆国際空港との定期便就航を契機に訪問団を派遣(3月)

- トルコとの交流
 - ・ エルトゥールル号殉難将士追悼式典開催(6月)
 - ・ トルコ共和国で開催されたエルトゥールル号120年慰霊式典に参加(9月)
 - ・ トルコ共和国大国民議会議長一行来県(10月)

- スペイン・ガリシア州との交流
 - ・ 県内の青年10名をガリシア州に派遣し、現地の青年と交流(12月)

④ 人権尊重社会の実現

- 「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」新規締結33団体 計166団体

V 生涯現役で誰もが活躍できる和歌山

1. 少子化対策の充実

- 次世代育成支援後期計画「新紀州っ子元気プラン」策定(3月)
- 一般不妊治療費助成の所得制限を緩和(4月)
- こうのとり相談(不妊専門相談)の窓口を増設(2カ所→3カ所)(7月)

2. 福祉の充実

- 特別支援学校における職業教育推進プロジェクトを開始
- 介護人材を確保するため、介護職員処遇改善対策、新規就業支援などを実施

3. 健康わかやまの実現

○ 医療従事者確保対策

- ・ 県立医科大学の入学枠を拡大(平成22年度入学定員 95名→100名)
※ 100名の内訳: 一般枠70
 県民医療枠(卒業後県内拠点病院に従事)20
 地域医療枠(卒業後へき地医療に従事)10
- ・ 近畿大学医学部に、卒業後、和歌山県内のへき地の医療機関や不足診療科で従事することを条件とする地域枠5名を設定(22年度～)
- ・ 県立医科大学に、医療人や学生の研修の場として全国屈指の先端設備を有する高度医療人育成センターを設置(4月)
- ・ 看護師等の資格を有しながら看護職に就いていない方を登録し、研修・求人情報等を提供するなど、再就職の支援システムを構築

○ 地域医療再生基金を創設(3月)し、救命救急センター(医大・日赤)の機能強化、新串本病院(仮称)再編整備などを支援

○ 和歌山県立医科大学附属病院紀北分院開院(9月)

○ 和歌山県がん診療連携推進病院制度を創設し、国保日高総合病院を指定(6月)

○ 認知症疾患医療センターとして、県立医科大学附属病院を指定(10月)(国保日高総合病院に次いで2箇所目)

○ 肝疾患診療連携拠点病院として、県立医科大学附属病院及び南和歌山医療センターを指定(12月)

○ ワクチン接種緊急促進基金を創設し、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸がんワクチンの3種の予防接種事業を実施する市町村を支援(12月)

○ 医聖華岡青洲生誕250年記念事業として記念式典・シンポジウムを開催(10月)

VI 国際競争力のあるたくましい産業を育む和歌山

1. 商工業の振興

- 企業立地の促進
 - ・ 平成22年1月以降新たに8社の企業立地が決定(詳細別紙)

- 和歌山県産業技術戦略会議を開催(2月、3月)

- 和歌山県産業技術基本計画を策定(4月)

- 先進的な産業分野で、県内企業が取り組む研究開発を支援する「先駆的産業技術研究開発支援事業」を開始(8月)

- 競争的資金を活用して県内中小企業等の技術開発を支援(「地域イノベーションクラスタープログラム」「戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン)」等)

- 企業と大学のマッチングを推進するため「和歌山大学産学官交流会」を開催(8月、11月)

- 異業種・異分野の経営者等の交流を推進するため「わかやま産業交流サロン」を開催(6月～)

- わかやま産品販路開拓アクションプログラム2010を策定(4月)

- 和歌山県優良県産品(プレミア和歌山)の推進
 - ・ モバイルサイトを開設(7月)
 - ・ 第3回推奨品認定(10月) 認定数 83品目 56事業者
製造物分野 72品目 生鮮物分野 7品目 観光資産 4品目

○ 見本市等に出展

- ・ 東京レザーフェアに出展(1月、6月)
- ・ 世界最大規模の消費財見本市ambiente(フランクフルト)に出展(2月)
- ・ アジア最大級の皮革見本市「オールチャイナレザーエキシビション」(上海)に出展(9月)
- ・ 国内最大のパーソナルギフトと生活雑貨の見本市「東京インターナショナルギフトショー」に出展(9月)
- ・ 中国国際工業博覧会(上海)に出展(11月)
- ・ 先進アパレル素材の見本市「インタースタッフ・アジア・エッセンシャル」(香港)に出展(10月)
- ・ 繊維国際見本市「ジャパンファッションウィークジャパנקリエーション」(東京)に出展(10月)

○ 商談会の開催

- ・ 北米及び欧州から日用品・雑貨の購入担当者を招き、商談会を開催(10月)
- ・ 中国山東省で企業商談会を開催(12月)

○ (株)ファミリーマートと地域活性化のための「包括的連携協定」を締結し、県産オリジナル商品の開発・販売など9項目で継続的な協働事業を実施(10月～)

○ 中小企業向け県融資制度の見直しを行い、中小企業者の資金繰りを支援

- ・ 融資対象の拡大 793業種 → 1118業種(2月～)
- ・ 経営支援資金(景気対応緊急枠)を新設(2月～)
- ・ 「前向き資金」(設備資金)を拡充(4月～)
- ・ 貸出金利の引き下げ(4月～)

○ 中小企業者・事業者等が活用できる支援策を部局横断的にとりまとめた一覧表を作成(4月)

○ 県内建設業界の県外進出に向け、建設技術会議を設置し、新技術開発などに積極的に取り組む企業を支援

- ・ 建設技術会議開催(8月)
- ・ 競争力強化セミナー開催(8月)
- ・ 建設新技術開発支援を開始(9月)
- ・ 建設新技術開発支援候補を選定(11月)

- 松下幸之助翁の知恵に学ぶシンポジウムを開催(5月)

- 「ふるさと雇用再生特別基金活用事業」及び「緊急雇用創出事業臨時特例基金活用事業」を実施
 - 平成22年度事業計画(11月末現在)
 - ふるさと雇用

県	62事業	921百万円	267人雇用
市町村	80事業	789百万円	210人雇用
 - 緊急雇用

県	84事業	1777百万円	1225人雇用
市町村	241事業	1259百万円	1246人雇用

- 高卒未就職者を本庁、県の出先機関及び県教育委員会の教育機関で臨時雇用するとともに正規就職までを支援(4月)

- 就職希望者の多い県立学校にきめ細かい就職支援を行うキャリアカウンセラー等を派遣

- 緊急新卒者就職支援対策として、経済5団体への要請、県内事業所への個別訪問を実施(10月～)

2. 農林水産業の振興

① 共通

○ 新農林水産業戦略プロジェクトを展開(18プロジェクト)

- ・ ハイメック方式による超高糖度トマトの生産拡大と販路開拓(橋本市、伊都郡全域)
- ・ しもつみかん(貯蔵みかん)高品質生産及び加工品開発、販路開拓(海南市下津町)
- ・ 県オリジナル品種「ゆら早生」のブランド確立と販売促進(県全域)
- ・ 柿酢を活用した新商品開発と販路拡大(かつらぎ町)
- ・ 有田みかん早和ブランドの生産拡大と加工・販売促進(有田市)
- ・ 冷凍梅の販路開拓と新たな梅加工品の開発(田辺市、上富田町)
- ・ イノブタの繁殖・肥育一貫生産体制の構築と販売促進(すさみ町)
- ・ ヒロメの一元集出荷体制による生産拡大と京阪神への販路開拓(田辺市、白浜町)
- ・ 黒豆栽培における枝豆出荷の拡大と販路開拓(紀の川市)
- ・ 花き生産・流通の低コスト化とオリジナル品種の販売促進(御坊市)
- ・ かんきつ類の出荷時期拡大のための生産・流通対策と加工品開発、販売促進(由良町)
- ・ ミニトマト(赤糖房・優糖星)の高品質生産及び加工品開発、販売促進(印南町)
- ・ 熊野牛の生産拡大と加工品開発、販売促進(県全域)
- ・ 川添茶の生産性向上及び新商品開発、販売促進(白浜町)
- ・ ゆずの生産拡大、加工品開発と販路開拓(古座川町)
- ・ 未利用魚や地域特産魚を活用した加工品開発と販売促進(県全域)
- ・ 新鶏種導入によるこだわり卵の生産、加工品開発と販路開拓(橋本市)
- ・ 高糖度高原トマト(おひさまとまと)のブランド育成と販路拡大(有田川町)

(注)○数字は開始年度

② 農業・水産業

- 「和歌山で農業しませんか」プロジェクトを実施
農業法人等での雇用総数:11経営体に15人
農家での雇用総数:40農家、40人（いずれも11月末現在）

- 漁業担い手確保・育成緊急対策事業を実施
3漁協で15人が研修

- 担い手、農地、生産に関する行動計画「農業緊急戦略アクションプログラム」を策定(3月)

- 高齢者が働きやすい園地づくりを推進するため、急傾斜園地内の単軌道(モノレール)の乗用タイプへの切り替えなどを支援

- 「和歌山県農水産物・加工食品の販売促進戦略 アクションプログラム2010」を策定(4月)

- 県産品のトップセールスを実施
 - ・ 梅(東京・大田市場)(6月)
 - ・ 桃(大阪市中心卸売市場)(7月)
 - ・ 首都圏主要JR駅(品川、渋谷、有楽町)でみかん、柿、梅干しをPR(10月)

- うめ需給・販売対策プロジェクトを開始(6月)

- 紀州うめフォーラム2010を東京で開催(10月)

- 県が主催する会議で県産温州みかんを提供する「和歌山なんだから、みかんをもっと食べようキャンペーン」を実施(11月～)

○ 商談会を開催

- ・ わかやま産品商談会in大阪を開催し、350人のバイヤーが来場(2月)
- ・ わかやま産品商談会in和歌山を開催し、122人のバイヤーが来場(10月)
- ・ 海外商談会INシンガポール・香港を開催(11月)

○ 国内見本市等に出展

- ・ 「ふるさとまつり東京」に自治体最大規模で出展、プレミア和歌山紹介コーナー設置(1月)
- ・ 2010スーパーマーケット・トレードショーにプレミア和歌山を出展(2月)
- ・ ジャパンインターナショナルシーフードショー大阪に出展(2月)
- ・ FOOD EX JAPAN 2010に23業者が出展(3月)

○ 百貨店等で和歌山フェア開催

- ・ 松坂屋本店(名古屋市)(4月)
- ・ スーパーアピタ(名古屋市等)(6月、11月)
- ・ 日本橋高島屋(東京)(10月)
- ・ さいか屋横須賀店(11月)
- ・ 紀ノ国屋7店舗(11月)

○ 国際見本市等に出展

- ・ ガルフード2010(アラブ首長国連邦・ドバイ)(2月)
- ・ Natural Products Expo West2010(アメリカ)(3月)
- ・ シアル2010(フランス・パリ)(10月)
- ・ 中国・上海万博「和歌山県の日」に出展(10月)
- ・ FHC CHINA2010(中国・上海)(11月)

○ 海外百貨店等で和歌山フェア開催

- ・ 台湾(太平洋崇光)(1月)
- ・ マレーシア(伊勢丹)(1月)
- ・ シンガポール(伊勢丹)(7月、11月)
- ・ タイ(伊勢丹)(10月、12月)
- ・ 香港(YATA一田)(11月)

○ 海外量販店等でプロモーション実施

- ・ マレーシア(1月)
- ・ 台湾(2月、7月)
- ・ シンガポール(7～8月、11月～12月)
- ・ 香港(7～8月、10～11月)
- ・ タイ(10月～11月)

○ 食品メーカー等との協働

- ・ 山崎製パン(株)との協働
和歌山県産あら川の桃ジャムを使った「ランチパック」を近畿地区で販売
(7月)
和歌山県産南高梅ジャムを使った「ランチパック」、「ナイススティック」を販売
(11月)
- ・ コンビニスイーツ「わかやまポンチ」プロジェクトの実施
ファミリーマートが和歌山大学附属小学校とコラボし、「コンビニスイーツ
わかやまポンチ」として近畿地区で発売
(10月)

○ 有害鳥獣対策

- ・ 猪や鹿を食肉として利用するための食肉処理加工施設「ジビエ工房紀州」を日
高川町に整備(5月)
- ・ ニホンジカの捕獲頭数制限を撤廃(9月)
- ・ モーションセンサを用いた害獣追い払いシステム開発に着手

③ 林業

○ 第62回全国植樹祭(平成23年)開催準備

- ・ 植樹祭基本計画を策定(2月)
- ・ プレ全国植樹祭を田辺市新庄公園で開催(5月)

○ 大消費地への販売促進

- ・ 紀州材・家づくりフェアをイオンモールりんくう泉南で開催(1月、7月)
- ・ 優良紀州材展を東京中央木材市場で開催(3月)
- ・ 国内最大規模の建材関連専門展示会「ジャパンホームショー」に出展(11月)

○ 上海国際木造エコ住宅博覧会に出展(8月)

○ 「企業の森」新規調印企業・団体が5あり、計55に (活動地56)

有限責任監査法人トーマツ	田辺市龍神村	1月
国際ロータリー第2640地区	田辺市中辺路町	4月
紀南生コンクリート協同組合	上富田町	6月
本州化学工業(株)	日高川町	9月
和歌山県警備業協同組合	田辺市龍神村	9月

VII 癒しと感動を与える誇れる郷土和歌山

1. 観光の振興

- 「和歌山県観光立県推進条例」施行(4月)

- 「和歌山県観光振興アクションプログラム2010」を策定(4月)

- 「わかやま〇旅」プロジェクトを実施
 - ・「わかやま観光情報」ウェブサイトにて、歩く、食べるなどテーマ別に魅力を紹介するページを新設(12月)

- 国内の誘客を図る取組
 - ・修学旅行・教育旅行の誘致をより一層推進するため「2010体験・学び・感動の修学旅行セミナー」を開催
東京(1月)、大阪・名古屋(8月)
※ 修学旅行誘致実績10府県から19校、3591人
 - ・NHKBSで「街道てくてく旅。熊野古道」が放送されることを契機に東京でイベント開催(8月)
 - ・熊野夢舞台コンサート「谷村新司ココロの学校」を熊野速玉大社で開催(8月)
 - ・県民総参加のおもてなし気運の醸成と誘客促進を図る「あったか和歌山おもてなしキャンペーン」を展開(11月)
 - ・わかやま観光立県宣言セレモニー(11月)
 - ・全国から学校関係者等を招き「体験型修学旅行全国研究大会」を開催(11月)
 - ・年金旅行誘致を推進するため「第2回きのくに地域活性化セミナー」を開催(11月)
※ 年金旅行誘致実績15信金、約4500人

- 海外からの誘客を図る取組
 - ・香港で開催された「2010チャイニーズ・ニューイヤー・ナイトパレード」及び関西DAYに出展(2月)
 - ・中国山東省で開催された「第9回日中地域間交流推進セミナー」でPR(8月)
 - ・「2010中国山東(済南)国際旅遊交易会」に出展(9月)
 - ・上海世界博覧会日本館イベントステージに出展(10月)
 - ・中国遼寧省大連市で開催された「第7回東アジア国際観光博覧会」に出展(10月)

- ・ 現地プロモーション
上海(2月、5月、11月)、大連(5月)、河北省(11月)、シンガポール(2月)、
タイ(2月、11月)、韓国(5月、8月)、香港(7月)、トルコ(9月)、
スペイン・フランス・イタリア(11月)、台湾(12月)
- ・ 中国、香港、マカオ、台湾とゴルフ観光協力宣言(10月)
- ・ 中国、韓国、台湾と温泉観光協力宣言(10月)
- ・ 台湾からの国際チャーター便就航(7~11月)
計18便 約2600人の台湾人旅行者が来県

○ おもてなしの向上

- ・ 和歌山のおもてなしノウハウ集を作成

2. 誇れる郷土づくり

○ 暮らしやすくにぎわいあふれる都市づくり

- ・ 商店街のコミュニティ機能強化支援事業を開始
三川元気夢来プロジェクト(田辺市海蔵寺商店街内)

○ 愛着の持てる元気な農山漁村づくり

- ・ 「わがまち元気プロジェクト」を展開 9プロジェクト
 - ・ ”真田・紀州九度山”まちづくり(九度山町)
 - ・ ”イノブタ”を核にした新複合産業の創出(すさみ町)
 - ・ ”花のまち御坊”ステップアッププラン(御坊市)
 - ・ ”由良・白崎海岸”観光まちづくり(由良町)
 - ・ ”南紀白浜・川添茶”の振興と白浜観光魅力アップ(白浜町)
 - ・ ”みなべの梅”底上戦略の推進(みなべ町)
 - ・ 湯浅まちなか・にぎわい復興プロジェクト(湯浅町)
 - ・ 古座川版エコツーリズムによる地域産業の創出(古座川町)
 - ・ ”食育のまち紀の川市”農業6次産業化プロジェクト(紀の川市)

(注)○数字は、開始年度

- ・ 「企業のふるさと」第2弾の覚書の調印(5月)
関西電力労働組合、NPO法人熊野本宮、田辺市
- ・ 「わかやま田舎暮らしフェア」を大阪で開催(6月)
- ・ わかやま版「過疎集落支援総合対策」の取組を開始(8月~)
- ・ 過疎地域自立促進方針・計画を策定(8月)
- ・ 空き家を利用して移住を推進するため、宅地建物取引の専門家も加わった空き家活用の仕組みづくりや、市町村の空き家改修支援を開始

- 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」にふさわしい地域づくり
 - ・ 「一万人の参詣道環境保全活動」の参加者が一万人を突破(7月)
 - ・ 世界遺産の追加登録を目指し、関連する文化財等の調査を開始

3. 環境・自然の保全

- 県有施設に太陽光発電設備を率先導入
県庁舎東別館、県立図書館、ビッグユウ、工業技術センター 等

- 県民生活に身近な地域の防犯灯のLED化を推進

- 木質パウダー燃料製造施設、木質パウダーボイラー施設の整備を支援

- 県立自然公園の抜本的見直しの完了(3月)
見直し後の県立自然公園の周知と利用促進のため自然公園シンポジウム(8月)
や自然観察会を実施

VIII 県民の命と暮らしを守る安全安心和歌山

1. 防災・減災社会の実現

- 災害発生直後に孤立集落の状況を把握するため、通信手段を持たない集落に、防災行政無線や衛星携帯電話など地域の実情に合った通信手段の整備を支援
24市町村、392台整備

- 土砂災害危険箇所に立地している要援護者施設に災害情報を迅速に伝達するため、防災行政無線通信端末等の整備を支援

- 災害拠点病院等の耐震化工事を支援
※事業完了後は、すべての災害拠点病院(8施設)が耐震化

- 近年の集中豪雨等対策として、中小河川における浸水対策予算を大幅増額

- 河川水位等のリアルタイム防災情報のテレビ配信を実施(6月～)

- 市町村長を対象とした防災研修を実施(10月)

- 各種団体と防災に関する協定を締結
 - ・ (社)和歌山県自動車整備振興会と大規模災害発生時における災害応急対策業務に関する協定を締結(1月)
 - ・ (株)ファミリーマートと防災関係の協働事業に関する協定を締結(6月)
 - ・ 和歌山県老人福祉施設協議会と災害時における地域の安心の確保等に関する協定を締結(10月)

2. 暮らしの安全・安心

- 消費生活センターに土曜日電話相談を開設

- 大学生サポーター等を活用して非行少年等の立ち直りを支援

Ⅹ にぎわいと交流を支える公共インフラを整備する和歌山

1. 交通ネットワークの充実

○ 道路網の整備

- ・ 国道480号(平道路)供用開始(1月)
- ・ 都市計画道路伊佐田町王子ヶ浜線供用開始(1月)
- ・ 主要地方道泉佐野岩出線供用開始(3月)
- ・ 阪和自動車道和歌山北インターチェンジ供用開始(3月)
- ・ 和歌山北インターチェンジ関連アクセス道路供用開始(3月)
- ・ 一般県道芳養清川線供用開始(3月)
- ・ 都市計画道路元町新庄線(海蔵寺工区)供用開始(3月)
- ・ 国道371号(橋本バイパス)一部供用開始(4月)
- ・ 国道370号(重根拡幅)一部供用開始(6月)
- ・ 国道425号(王子川谷拡幅)供用開始(6月)
- ・ 阪和自動車道海南IC～有田IC 下り線2車線供用開始(7月)
- ・ 国道425号(切目川バイパス)一部供用開始(8月)
- ・ 国道425号(福井バイパス)供用開始 X軸ネットワーク道路が概成(8月)
- ・ 主要地方道すさみ古座線供用開始(10月)
- ・ 国道371号(蔵土バイパス)供用開始(10月)
- ・ 湯浅御坊道路の4車線化の都市計画手続き完了(11月)

○ 道路整備推進のための活動

- ・ 全国知事会「社会資本整備PT」提言(5月)
- ・ 第1次的高速道路ネットワークの早期連結を目指す9県知事合同政策提言(5月、10月)

○ 交通機能の充実

- ・ 南紀白浜空港の白浜～羽田便の通年1日3往復化、特便割引3導入(4月)
- ・ 紀ノ川河口大橋有料道路の無料開放(8月)
- ・ 和歌山下津港臨港道路紀ノ川右岸線供用開始(12月)

2. IT基盤整備と利活用推進

- 田辺市龍神村でIT利用による買い物支援社会実験を実施(9月～12月)

○平成18年12月以降の本県への企業立地動向

	企業名	立地場所	操業開始予定	雇用予定(人)	投資額(億円)
1	(株)松源	和歌山市	H19年 6月	34	2.6
2	亀宝倉庫(株)	和歌山市	H19年 6月	5	0.7
3	エアウォーター(株)	和歌山市	H19年 7月	—	—
4	原田織物(株)	橋本市	H20年 2月	20	3.7
5	(株)タカショー	海南市	H19年10月	40	7
6	ペトロマテリアル(株)	和歌山市	H19年11月	20	8
7	アトラック(株)	橋本市	H20年 1月	5	2.3
8	恵和(株)	印南町	H19年11月	7	14.8
9	(株)NMソルト	和歌山市	H20年 4月	2	1
10	南海化学工業(株)	和歌山市	H20年 1月	—	—
11	剤盛堂薬品(株)	和歌山市	H20年 1月	—	—
12	ミナベ化工(株)	みなべ町	H20年 1月	—	—
13	(株)NTN	上富田町	H20年 1月	25	20
14	(株)スミロン	日高川町	H20年 9月	16	18
15	パナソニック(株)エナジー社	紀の川市	H20年 5月	50	45
16	アイコム(株)	紀の川市	H21年 4月	160	20
17	本州化学(株)	和歌山市	H21年 1月	—	—
18	辻岡運輸(株)	和歌山市	H20年11月	5	1
19	(株)オークワ	和歌山市	H20年 8月	30	24
20	住友金属工業(株)	和歌山市	H21年 7月	—	1600
21		和歌山市	H24年下期	—	1150
22	和興建産(株)	和歌山市	H19年 8月	—	—
23	太陽食品(株)	和歌山市	未定	—	—
24	極東化成工業(株)	岩出市	未定	—	—
25	尾高ゴム工業(株)	紀の川市	H19年 9月	—	—
26	関戸運輸(株)	和歌山市	H20年 4月	—	—
27	ビーウィズ(株)	和歌山市	H20年 7月	120	1
28	(株)ユアブレインズ	和歌山市	H20年 1月	15	0.05
29	アドバン工業(株)	和歌山市	H20年 8月	—	—
30	(有)久保田エンジニア	紀の川市	未定	—	—
31	(株)ホタニ	紀の川市	H21年 8月	—	—
32	大輪産業(株)	橋本市	未定	15	1.75
33	恵和(株)	御坊市	H21年 8月	35	22
34	(株)アルバック	橋本市	H21年10月	60	14
35	(株)エスアールアイ	海南市	H20年 5月	20	0.03
36	ペトロマテリアル(株)	和歌山市	H22年	10	5
37	東京製綱(株)	和歌山市	H20年 5月	30	5
38	セイカ(株)	和歌山市	H24年 4月	40	50
39	(株)マルテン天満屋	日高川町	H21年 4月	48	1
40	(株)コズミックランド	白浜町	—	10	1.5
41	大阪富士工業(株)	和歌山市	H21年10月	15	2
42	笠野興産(株)	和歌山市	H21年 2月	18	6.8
43	(有)コバタ総合研究所	橋本市	設計中	16	2.5
44	田辺金属工業(株)	田辺市	H22年 3月	16	3.6
45	朝日オリコム和歌山	和歌山市	H21年 5月	—	—
46	(株)中井鉄工所	橋本市	H22年 7月	5	1.4

	企業名	立地場所	操業開始予定	雇用予定(人)	投資額(億円)
47	(株)しんこう技研	紀の川市	H21年 8月	19	3.7
48	旭精機(株)	橋本市	H23年	14	2.2
49	(株)NMソルト	和歌山市	H22年 5月	—	—
50	木本産業(株)	有田市	H21年10月	20	1.1
51	尾高ゴム工業(株)	紀の川市	H21年10月	15	3
52	太洋工業(株)	和歌山市	H23年 4月	0	3.5
53	住友精密工業(株)	和歌山市	H21年 6月	0	7.5
54	花王(株)	和歌山市	H21年11月	0	4.5
55	エアウォーター(株)	和歌山市	H21年12月	4	47
56	南海化学工業(株)	和歌山市	H21年 3月	0	0.7
57	(株)三晃精密	橋本市	未定	—	—
58	(株)ふみこ農園	有田市	H21年 3月	—	—
59	(株)テクノ・アシスト	紀の川市	H20年10月	—	—
60	棒引製材	みなべ町	H20年12月	—	—
61	白光印刷	和歌山市	H21年 5月	5	0.66
62	林化成(株)	橋本市	H22年12月	12	8
63	(株)見果てぬ夢	田辺市	H21年 7月	12	0.03
64	大日本除虫菊(株)	海南市	H22年12月	16	25
65	共同印刷(株)	有田川町	H22年 1月	7	5.6
66	花王(株) ※研究施設	和歌山市	H23年 2月	—	160
67	紀和化学工業(株)	紀の川市	H22年 3月	0	18
68	三菱電機(株)	和歌山市	H22年 9月	0	35
69	日建産業(株)	御坊市	H22年 4月	0	7.7
70	豊国金属工業(株)	橋本市	未定	—	—
71	ミナベ化工(株)	みなべ町	H23年 3月	14	10.8
72	(株)ニッコク	岩出市	H21年12月	20	—
73	紀州ファスナー工業(株)	御坊市	H24年 1月	20	16
74	(株)九重雑賀	紀の川市	H21年 6月	—	—
75	(株)丸徳水産	和歌山市	H23年 3月	21	1
76	ハグルマ(株)	紀の川市	H23年 6月	16	15
77	藤本製菓(株)	御坊市	H23年 8月	10	8
78	北広ケミカル(株)	橋本市	H25年 3月	10	3
79	ヤマトコンタクトサービス(株)	和歌山市	H22年11月	40	0.9
80	日進化学(株)	橋本市	H24年 4月	40	11
	合 計	—	—	1207 人	3434.62 億円

※ 投資額には土地代を含まない。雇用予定・投資額の「—」欄については発表データなし。

進出協定締結数 : 41件

※ は進出協定締結企業。